

ともしに一通信

4月の特集:事業所長による事業所紹介

理事長あいさつ

事業所紹介



編集後記



理事長あいさつ

新年度のスタートを切るにあたり、日頃より東京自立支援センターへのご理解とご協力をいただきありがとうございますことに心よりの感謝を申し上げます。

障害福祉サービスを担う一員として、私たちはより良い支援を提供し、地域社会の調和と発展に貢献することを使命としております。新たな一年が始まる今、これまで以上に団結し、チームワークを発揮していく覚悟です。また、利用者の皆様と、そのご家族の皆様には、より充実した生活を送っていただけるよう、職員一同精進してまいります。新年度も変わらぬご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様のますますのご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。



特定非営利活動法人東京自立支援センター
〒186-0003
国立市富士見台4-11-7-101号
TEL 042-576-9088
FAX 042-576-9144





共同生活援助
ともに一ホーム

短期入所生活介護
ともに一ルポ

指定特定相談事業所
ともに一サポート

平素より当事業所の事業運営に格別のご理解を賜り、厚く御礼申し上げます。
新年度を迎えるにあたりご挨拶申し上げます。

現行の障害福祉サービスの根拠法にあたる障害者総合支援法は3年毎に見直しがされます。令和6年度はその年にあたります。例えば、ともに一ホームに関する事項として、グループホーム入居中における一人暮らし等に向けた支援の充実、及びグループホーム退居後における支援、いわゆる卒業支援が加わります。

法改正により、働き方や住まいのあり方等、本人が望む暮らしの選択肢が広がることとなります。

障害福祉事業に携わる者として、それに応えられる取り組みに向き合いたいと思います。又、この機に乗じて、改めて所属する事業所の運営方針をご紹介させて頂くことでより良い利用者支援に研磨したいとも思います。

本年度もより一層のご指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

【ともに一ホーム】

・利用者さん一人ひとり違う暮らしが可能な限り普通に行われていて、利用者さん一人ひとりが可能な限り自分がしたいことを選ぶことが出来て、利用者さん一人ひとりの自立した生活に向けて支援が提供されている。そんな態勢がいつも整っているグループホームでありたいと思います。

・一人ひとり生き立ちの異なる利用者さんが、一つ屋根の下で暮らしているグループホーム。グループホームの生活の主体者は利用者さんであり、その時々々の個々のニーズに応じた支援に取り組むことの出来る支援者でありたいと思います。

・加えて家族との関係性についても、利用者支援に繋がる大切な要素の一つと考えます。家族の抱える不安要素への援助には、利用者さんが地域で暮らしていく上で必要となる社会福祉制度の正しい理解と制度以外の社会資源の把握も職員には必要なスキルであり、そんな支援者でありたいと思います。

【ルポ】

家族の病気等社会的事由からの緊急一時保護や地域生活(単身・GH等)へ向けての事前準備等の理由から、ともに一ホームの空床を利用して頂き、日常生活に必要な支援をさせていただきます。

【ともに一サポート】

障害福祉サービスを利用する利用者さんに対して丁寧な支援を行う為、地域・関係機関との連携の強化、アウトリーチや発信型の視点を取り入れた積極的な介入・連携を増やし、切れ目のない支援を目指します。そして、利用者さんの意思(意向や気持ち)への注意度を高めていく相談支援専門員でありたいと思います。



共同生活援助 ともに一ホーム 所長
空床利用型短期入所 ともに一ルポ 所長
指定特定相談支援 ともに一サポート 相談支援専門員
渡邊吉郎





就労継続支援B型事業所

ともにードリーム

ともにードリームは、23年度に退所をされた方が3名いましたが、新たに2名の利用者の方が増え、22名でのスタートとなりました。

4月からは、今までの目標を継続する方や新たな目標を立てた方など、それぞれの目標に向けて頑張っています。

ドリームでは、月に1回、利用者の方と面談を行い、困っていることや、新しく挑戦してみたいことなどを聞く時間を設けています。少しでも安心して通える場所になればよいと考えています。職員も力をあわせて新しい仕事やイベントへの出店などにチャレンジをしていきたいと思っています。今年度もどうぞ宜しくお願いいたします。

所長 伊東美紀



放課後等デイサービス

スマイルともにー1・2

スマイルともにーでは自然豊かな立地を利用した活動の場を提供しています。今年度も『地域で生きる基盤作り』を目標に、子どもたちのソーシャルスキル向上、ライフスキル向上のお手伝いをさせていただきたいと考えています。

4月は新しい環境に戸惑う場面も多いかもしれませんが、子どもたちに合わせ、居心地のよい環境を整え受け入れができるよう、精一杯務めさせていただきます。本年度もよろしくお願いいたします。

スマイルともにー職員一同





就労継続支援A型事業所

ともに一

ともに一では23年度に4名の方が退所をされました。1名は就労移行支援事業所へ、もう1名は就労継続支援B型事業所へ、もう1名は再び就労をする為に就職活動中、また、もう1名は障害者雇用で一般企業へ就職されました。一般企業に就職した利用者の方には、制度上、就職して6か月間は出身母体である「ともに一」が定着支援を行います。定着支援は、長く会社に勤められるように就労先の会社に訪問し、現状を伺ったり、ご本人のお話を聞いて、不安を除去したり、直接、会社の人に聞きにくい事をご本人に代わって聞き、分かりやすい言葉で伝えまます。幸い、試用期間を無事に終え、雇用契約も継続してもらえることになりました。会社の方にもご理解をいただき、面談時には工場長・事務責任者・現場責任者が同席してくださり、和やかな中にも、有意義な内容の情報交換ができました。今年度もどうぞ宜しくお願いいたします。

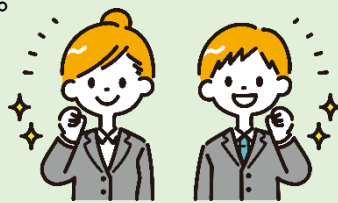


所長 伊藤英治

就労継続支援A型事業所

ステップアップともに一

ステップアップともに一では23年度に退所をされた方が1名いました。前号でお伝えした通り、障害者雇用され一般企業に就職しました。(定着支援の内容はともに一の項をご参照ください。)ステップアップともに一の利用者さんの中にも、身近で一緒に仕事をしていた人が就職したので、それに感化されたのか?!数名の方が「僕も就職したい。」と希望されています。その要望に応じて、多摩工場では【就活講座】を行っています。就活講座は二度行い、テキストを参考にしながら、第一回目は会社で働くときのマナー(働くルール・挨拶のマナー・態度・言葉づかい・身だしなみ)について、講座と実践を行いました。その際に毎週、送られてくる求人情報(24件)もお見せし、こういう会社が求人をしている。と言う情報もお伝えしました。第二回目は面接の練習と履歴書の書き方を学びました。今年度もよろしく宜しくお願いいたします。



所長 伊藤英治

就労移行・定着支援事業所

ポートビス

就労移行は4月1日から3名の新規ご利用者様と1名の新人職員を迎え、総勢16名のスタートとなりました。どのご利用者様も、自己理解を深めご自身に合った環境で就労したい。という希望を持って入所されています。オーダーメイドのプログラムを提供しながら、支援員も皆さんをしっかりと支えていきます。人気の訓練プログラムは運動やSST(ソーシャルスキルトレーニング)です。みんなで汗を流したり、話し合いで意見を交わしたり、と日々経験をする中で、就労準備性を高めています。さて、昨年度は年間で50件以上のお問い合わせを頂き、多くの方々に見学や体験利用をしていただきました。この記事を書いている3月に入ってから切れ目ない問い合わせを頂いております。就労に不安を抱いている方、少しでも興味がある方は遠慮なくお問い合わせ下さい。お待ちしております。

今年も引き続き、ご指導、ご鞭撻のほどを何卒宜しくお願いいたします。

所長 鷲見美穂

編集後記

満開の桜に心浮き立つ春になりました。新年度も皆さまに楽しんでいただけるような「ともに一通信」をお届けできるように頑張ります。(K)